

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を!

ハロー フランス

ファイセック **FICEC**

発行

ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2012年 **10**月号(隔月刊) 第122号

DVD暮らしのガイド—埼玉県版— 撮影中!

埼玉県国際課からの業務委託で、外国人向けの暮らしのガイドをDVDにする事業を請け負うことになりました。出演者全てを含めると20人以上の外国人と、FICECスタッフ総出で製作に取りかかっています。

撮影や編集に関しては、日本工業大学の糸野文洋先生と石原次郎先生、横浜美大の佐藤英里子先生が収録を担当して下さることとなりました。年内に、撮影と翻訳を終え、1月には7ヶ国語のナレーションの編集を済ませて、2月中旬の完成を目指しています。

完成後は、県のホームページでDVDを見ることができます。協力して下さる皆さんに感謝しながら、初めての経験を楽しんでいます。



市役所の窓口で、転入届や婚姻届の手続きをする場面 ■ふじみ野市役所にて

平成24年度 彩の国ボランティア体験プログラム事業

体験！ワールドツアー

8月24日恒例のボランティア体験事業が行われました。猛暑のなか、総勢30名弱、大井中央公民館、調理室で台湾料理を作りました。午後は子ども用に分かりやすく国際理解のお話をし、その後、世界地図ゲームや国旗カルタゲームで盛り上がったところで無事事業を終えました。

料理のメニューは子どもたちの大好物の焼きビーフン、スープ、タピオカでしたので、1時間ほどで出来上がり、子どもたちはゆっくり食べながら講師とふじみ野市の他校の子供と交流する機会も出来ました。カルタゲームで各グループに圧倒的に強かった子がいて負けた子は悔しくて来年は一番になるんだと言いながら帰りました。今日の子供たちの目は真夏の太陽に負けない強い光を放っていました。

(阿澄康子 記)



楽しく作った料理のレシピ

●トマトと卵スープ

材料：(5人分) 卵3コ、トマト中2個、にんにく少々、ネギ少々、塩少々

作り方：にんにくを少量の油でいため、水を加え沸騰したらざく切りにしたトマトをいれる。最後にとき卵とネギ、塩をいれて完成。

●焼きビーフン

材料：(1人分) ビーフン 150g、豚肉 20g、キャベツ 20g、干し椎茸 2枚、人参 10g、絹さや 6枚、長ネギ 1本、水 180cc、旨味調味料 小さじ 1/2、醤油 小さじ 1/3、胡椒 少々

作り方：沸騰した湯でビーフンを1分茹で、ざるにあげます。細切りにした肉と野菜を炒めて、水・調味料・ビーフンを加え蓋をして蒸し焼き(弱火2分)。下ゆでした絹さやを加え強火で全体の汁気をとばして仕上げる。

●パールミルクティ

材料：タピオカ 1袋、紅茶、シロップ、ミルク

作り方：黒タピオカの6倍の量のお湯を大きめのお鍋にわかし、その中に黒タピオカを投入します。タピオカはすぐにプカーッと浮いてくるので、鍋にくっつかないように時々かきまぜながら、弱火～中火で25分～30分程度ゆっくり煮ます。鍋の蓋をして30分程度蒸らします。蒸らした後は、お湯をきって、冷水でぬめりを軽く洗い流します。ちょうどよく冷えたら、シロップをからめ混ぜます。黒タピオカの完成です。茶葉とお湯の割合は1対100が良いですが、後からたっぷりのミルクとシロップを入れるので濃い目の方がよいと思います。紅茶は氷水で急速に冷しておきます。食べる時、タピオカと紅茶をコップに入れて、太いストローで飲みます!



アンケート結果 (提出件数 18名)

☆参加してどうでしたか？ 楽しかった16名、普通2名

☆何が楽しかったですか？ 料理11名、ゲーム11名

☆またやってみたいですか？ やりたい16名、分からない2名

☆参加者の声

- ・台湾と日本は近くて少し似ているが、違いも多い。
- ・台湾ではお弁当は蒸すということを知って驚いた。
- ・へちまを食べたことがなかったので食べる機会ができてよかった。
- ・いろいろな国を世界地図パズルで知り、カルタで多くの国旗を知った。
- ・今回の体験を生かしてこれからも多くの国の人と交流ができればいいと思います。

【災害時に命を守るカード】 外国人災害時緊急カードを作成しました。

平成23年3月11日に起きた東日本大震災の被災地の状況から、様々な災害時外国人支援の課題が見えてきました。

埼玉県が行った地震被害想定調査（平成19年）では、東京湾北部地震が発生した場合、東京などで帰宅困難者となる県民の数は約120万人に上るとし、その中には多くの外国人も含まれています。日本語を良く理解できない外国人は情報弱者になりやすく、また、多くの人が地震直後パニックになり、わずかに話せる日本語が口から出なかったと話しています。

これらの様々な課題を解決するために、国からの交付金で共助社会づくり支援事業を実施するための「災害時外国人支援体制づくり協議会」※を設立しました。

その中でふじみの国際交流センターでは、いざという時に命を守るツールとして、常に携帯できる《外国人災害時緊急カード》を作成しました。

このカードは、やさしい日本語・英語・中国語で作成されており、緊急時に必要な情報がこのカード1枚に書き込めるようになっています。

また、地図の部分に自分自身で防災マップを作ることによって、避難場所の確認や、危険箇所の認識を持つことができます。

カードは4万部作成、9月末に完成予定です。埼玉県内の行政機関、日本語教室、大学などに配布していきます。ふじみの国際交流センターでも配布しますので、お知り合いの外国人にお知らせください。

Emergency Card 外国人緊急联络卡
外国人緊急カード

City Office ● 市役所 しやくしょ

Embassy ● 大使館 たいしつかん

Saitama information and support ● 埼玉外国人総合咨询中心
がいこくじんのたすけのそうごんまどぐち
外国人総合相談センター埼玉 048-833-3296

119 Fire / Injuries / Sickness ● 火災 / 傷 / 有病
びじ / けが / ひょうき

110 Police ● 警察 けいさつ

Name ● 姓名 なまえ

Language ● 母語 こはば

Evacuation Site ● 避難場所 ひなんばしょ

* やさしい日本語で話してください *

Map ● 地図 ちず

※このカードは埼玉県共助社会づくり支援事業により作成しました。

Date of birth ● 出生年月日 うまれとしひ

Nationality ● 出生国 くに

Address ● 家庭住址 けいけいぢゅうしょ

Blood Type ● 血型 けつえきがた

Passport Number ● 护照号码 パスポート ほんごう

Special Remarks ● 其他 そのた

Emergency Contact ● 紧急时联络电话
ここにねんらくしてください

Name ● 姓名 なまえ

Medical Record ● 身患何種疾病
わたしのびょうき

Doctor/Hospital ● 医生 / 医院 びょういん

Allergies ● 过敏 アレルギー

Medical Problems ● 疾病名称 ひょうびのなまえ

Medication ● 药 くすり

※ 「災害時外国人支援体制づくり協議会」
(財) 埼玉県国際交流協会、(特活) ふじみの国際交流センター、(特活) キャンパー、
上尾市、北本市、宮代町、埼玉大学、埼玉県

在日外国人と日本語

藤林 美穂

厳しくなった5年ビザの条件

今年7月から入管法が大きく変わり、その中で、これまで3年が最長だったビザの期限が5年になりました。一見外国人にとって朗報のようなのですが、この5年ビザをどうしたらもらえるか、というところがくせ者で、とくに「定住者」という在留資格で日本に暮らしている人（日系人や、以前日本人と結婚していたが今は離婚している人、これらの人と結婚した人など）が5年ビザをとるためには、日本語のテストを受けて一定の点数に達している（あるいは特定の日本語学校等で学んだ経験がある）ことが条件になります。しかも、「一定の点数」とはどのくらいのレベルかというところ「日本語の新聞が読める程度」だと言うのです。きびしいですね。永住ビザをとる場合でも、このような日本語能力の条件はついていません。

日本で暮らす外国人は、留学経験のある人を除いて、耳で覚えて話したり聞いたりとは流暢にできても、読み書きはハードルが高い、という人がほとんどです。とりわけ「定住者」でこの条件を満たす人はあまりいないのではないかと思います。ちなみに定住者以外のビザでは5年ビザをとる上でこうした日本語能力の条件はついていません。

よく日本人から「日本に暮らす以上は外国人であろうと日本語を学ぶべきだ。なぜ勉強しないのか」という非難とも叱責ともつかぬ意見を聞くこと

があります。日本の会社で正規職員として働いている外国人ならば、アフター5に語学学校に行くとか、そもそもそれ以前に日本の大学で学ぶ機会があるだろうと想像します。しかし、ここで問題になっている「定住者」ビザの人たちの多くは工場労働者、しかも不安定な派遣社員がほとんどです。語学学校に行く時間的なゆとりもお金もありません。また、同僚も同じ外国人、仕事の内容もラインで組み立てをしたり、夜勤で食品加工だったり、仕事の中で日本語を学ぶチャンスもないのです。

5年ビザにこうした条件をつけたのは、外国人に日本語を勉強させるため、という理屈でしょうが、もし本格的に外国人に日本語を勉強してもらおう、ということなら、地域での日本語学習の機会を保証し、公的に支援する仕組みが必要です。それなしでビザの条件に日本語能力を掲げるだけでは、彼らの生活実態に即していない酷な条件と言わざるを得ません。

私自身は、外国人と話していて、この人は学校で勉強するチャンスがなかったのにどうしてこんなに日本語が話せるのか、とびっくりすることがよくあります。読み書きができないということは文字で記憶を補強できず耳から聞くだけ、それでなぜこんなに語彙が多く、微妙な内容を表現できるのか……。でもそれは入管では評価されない能力なんですね。



ふじみの国際交流センターの日本語教室

●筆者紹介

行政書士（ライフ行政書士事務所）。NGOで働いたり、フィリピン人支援団体でボランティアしたりした後、行政書士開業。毎日いろいろな国から来たいろいろな人の話を聞いて、「在日外国人」の多様性に、びっくりすることの連続です。

日本語の難しさと面白さを日々実感

矢澤 美紀

2009年の夏からふじみの国際交流センターのパソコン教室と日本語教室でボランティアをしています。センターのことはインターネットで「パソコン教室 ボランティア」と検索して知り、何回か通ううちに日本語教室の事を知り、参加するようになりました。

日本語教室には、日本語が全く話せない方、日常会話は出来ても読み書きが出来ない方、進学や就職をしたいと考えている方、日本人と会話の練習がしたいと通ってくる方等、さまざまな目的をもった外国人が訪れます。その方たち、一人ひとりの目的に合った日本語を教えるように心がけています。私は日本語しか話せないのですが、母国語で解説が書いてある補助教材を利用したり、絵を描いて説明したり、時にはジェスチャーしたりしながら、毎回楽しん

で日本語を教えています。

「やってみよう」の「みよう」の意味は？「楽しい」と「嬉しい」の違いは？学習者から尋ねられる質問には、すぐに答えられないことも多いです。普段無意識に使っている日本語の文法を教えることは、日本人であっても難しいものです。ボランティアをしていなかったら気づかなかった日本語の難しさと面白さを日々感じています。

自分の名前しか言えなかった学習者が、少しずつ日本語が上手になり、国の話や自分の話をしてくれるようになります。周りの日本人とも楽しそうに日本語で会話している姿をみるととても嬉しくなります。これからも楽しみながらボランティアを続けていきたいと思えます。

見送りの三振より 空振りの三振

パートII

石井 ナナエ

「パソコンを寄付してください」とパルシステム (do コープ) 市民活動助成事業に応募し3台のパソコンをいただいたのが、セカンドリーグと知り合うきっかけだった。

事業報告会当日、コープが地域住民のために、NPO法人セカンドリーグという中間支援組織を立ち上げるという話を聞いた。友人がその理事になった縁で、設立総会当日「NPOとコミュニティービジネス」と題して、ふじみの国際交流センターの話をした。

持続するNPOにするためには経済的基盤がしっかりしていることが必須だが、ボランティアサークルからNPOになった私たちには経営のノウハウがない。また高齢者・障害者対象のNPOと違って、政府からの法的支援もない上に、社会の変化に伴い有償ボランティアを求める人が増えた。

その苦境に一石を投じてくれたのがセカンドリーグ埼玉で、センターの持っているノウハウを仕事として行政に売り込む方法を考えてくれた。日本語がわからない外国人が多く来る行政窓口で、マイクを取り付けた携帯電話を置き日本語を流暢にこなす外国人につないで三者で話をするシステムである。

設備投資のために、埼玉県との協働事業に応募する

ようアドバイスをしてくれ、プレゼン用のDVDを作ってくれた。お陰で提案は採択され6か月間の試用期間を経て、1市町1か月3万円で通訳業務を委託してもらえるようになった。説明会や市町村への訪問、携帯会社や県との交渉すべてに同行してくれた。女だけの交渉がまだまだ軽んじられる現在、スーツをびちっと着た男性が二人居ると、先方の態度が違う。

月初めに開く通訳者研修で、ビジネスマナー、個人情報保護法やリスクマネジメントなどについて教えてくれた。そこでアウトカムやアウトプットという言葉も覚えた。

事務局会議では経営者としてのノウハウや事業の見通し方、情報が満載された読みやすい情報誌の作り方など、懇切丁寧に熱を込めて教えてくれる。センター側の担当スタッフが途中5人も入れ替わったのに助言者であるセカンドリーグは終始変わることなく根気強く指導してくれ、どんなに心強く頼もしかったことか。

通訳者である外国人もわからないことを恥ずかしがらずに遠慮なく聞ける相手として、すっかり打ち解けている。携帯電話事業を軌道にのせて、早く謝礼が払えるようにしなければと思っている。

埼玉大学の学生 1 人 インターンシップとして FICEC の活動に参加

7月から9月、ひとり10日間の実習です。いろんな人と出会い、経験して下さった様子をご紹介します。

教育学部 加藤祐佳里

ふじみの国際交流センターでは、「日本人」「外国人」という区別なく、互いに助け合い、共に楽しみ、一緒に仕事をしています。私は今まで、言語力が足りないから外国人の力にはなれないと思っていました。しかしここにきて、私は自らの可能性を狭めていたことに気づきました。話したことがなくても、言葉が通じなくても、心を通わせたり、力になったりする方法はいくらでもあるのです。ふじみの国際交流センターは、そのようなことが学べる素敵な場所です。10日間ありがとうございました。

教養学部 チェギュヒョン

ふじみの国際交流センターで十日間の実習をさせていただき、とても良い経験になりました。実習中参加させていただいたDVD制作や翻訳、外国人に日本語を教えるなど私にとっては難しいことでしたが、皆さんに色々教えてもらい、たくさんのいい人たちに出会えてとても嬉しかったです。言葉が分からない外国人、そして日本での生活が大変な外国人のため何でも助けようと頑張っているセンターの全スタッフさんたちを見るだけでも私にとってはとても貴重な時間でした。十日間の短い時間でしたがセンターの皆さんのおかげで私も日本でもっと元気で明るく暮らすことができると思います。実習の期間中大変お世話になりました。ありがとうございました。

教育学部 川村まり

ふじみの国際交流センターにインターンシップをしてみて感じたことは、色々な人がいるんだということです。これは分かっているけど、普段あまり感じないことです。外国の方と関わることは多くありません。そのため、私は“～人だから”というイメージで見がちでした。でも、個人的に接してみて自分の視野が狭かったことに気づけました。まだまだ関わった人も積んだ経験も少ないけど、自分の不足が分かったことは大きな収穫だと思います。

教養学部 本田美晴

この10日間のインターンシップの中で私は数多くの貴重な体験をさせて頂き、とても濃い時間を過ごすことができました。中でも特に印象深いのはやはり外国人の方々との触れ合いです。ふじみの国際交流センターを訪れる外国人の方々は国籍もばらばらであれば、抱える事情も異なります。お話をすると私の知らないことがたくさん出てきたり、今まで気づけなかったことにはっとしたり、私の世界観が大きく変わりました。この経験を無駄にせず、これからさらに視野を広げていけたらと思います。10日間本当にありがとうございました。

教養学部 楯舞子

国際交流センターって何をするとところなの？今は国際社会なのだから、支援は県や市がやっているのでは？というのが私の第一印象でした。しかし、いろいろな人と話をするうちに、センターというのは生活相談などの事務的な場だけではなく、“異国での不安な生活の心の拠り所”であると実感しました。人と理解しあうことの大切さを教えてくれたセンターと外国の方々にとても感謝します。とても楽しかったです。ありがとうございました。

教育学部 古内慎一郎

センターには様々な境遇の方々がいて、自分の知らない世界をたくさん学ぶことができました。また外国人ということで何かと不利な状況に置かれたにもかかわらず力強く生きていこうという利用者の方々の姿を見ると「自分も頑張らなきゃな」と思い、とても元気が出ました。約1カ月と短い期間でしたが、いろいろな人に出会いとても充実した時間になりました。学校が始まったらまた忙しくなりますが、時間ができたらまた来たいです。

教育学部 神津希帆

ふじみの国際交流センターは毎日たくさんの方々が集まってきます。きっとそれはここには訪れる人を温かく受け入れてくれる和やかな雰囲気があるからだだと思います。私は国を問わずみんなイキイキと過ごしているこの雰囲気が大好きで毎回訪れるのが楽しみでした。また、外国から来た方々にとって、これから一緒に日本で暮らしていく上でこういったセンターの果たす役割の大きさを感じました。私も将来英語を使って日本に暮らす外国人と日本人の架け橋になることができたらいいなと思います。ありがとうございました。

活動報告

2012/8/2 携帯通訳者会議 4.5 上福岡七夕まつり 7.28 スタッフ会議 11 理事会 7 情報誌編集会議 9.23 パソコン教室 21. 埼玉県立大学 保科先生勉強会 24. 彩の国ボランティア体験プログラム、夏休み期間中の水木土（子どもクラブ）月（毎週）英語教室 木（毎週）日本語教室
 9/5 携帯通訳者会議 9.NPO パワーアップセミナー参加 11.25 スタッフ会議 15. 理事会 25 情報誌編集会議 13.27 パソコン教室 月（毎週）英語教室 木（毎週）日本語教室 金（毎週）中国語教室 土（毎週）子どもクラブ

富士見市国際フォーラム

同じ地域に住む人々が国籍にかかわらずさまざまな文化を理解して交わる国際交流フォーラムを開催します。ふじみの国際交流センターと交流のある外国人3名が「外国人の主張」をします。日本に来て困ったこと、楽しかったことを発表します。また「国旗かるた」「What's your name?(多言語でしおりづくり)」のコーナーも担当しています。子どもから大人まで参加できる企画をたくさん用意していますので、みなさん気軽にお出掛けください。

主催：富士見市 日時：11月11日 12:00～16:00

場所：富士見市立ふじみ野交流センター（富士見市勝瀬1166 ふじみ野駅東口徒歩10分）

多言語で対応できる診療所

南米ボリビア多民族国家ラパス市出身で朝霞厚生病院の副院長を務めていたベラスケス・ヘルマン先生が朝霞に診療所を開業しました。言葉でお困りの患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください。

あおば台診療所：埼玉県朝霞市宮戸3-8-2 最寄駅・東武東上線志木駅 Tel.048-474-5270

対応言語：日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語 診療内容：脳神経外科、内科、小児科

ホームページ：www.aobadai-mc.com

DV被害者支援ボランティア育成講座開催

みんなが幸せになるために---平成24年度埼玉県DV防止出前講座 参加者募集

問い合わせ先：ふじみの国際交流センター 開催場所：うれし野まちづくり会館3階

月 日	実施カリキュラム	内 容	派遣講師(所属)
11月17日 (土)10時～ 12時	警察官から見た DV 家庭	DV 夫とその家族	東入間警察署 生活安全課
11月17日 (土)13時～ 15時	子どもをとりまく現 状と課題 子どもの自立支援	児童自立支援施設卒業 後の子どもや障がい児の 現状と生活	国立武蔵野学院 教務課長 青木 建様
12月1日 (土)10時～ 12時	母子家庭の現状と 行政支援	貧困率と子どもの学力・ 行政の支援と地域	埼玉県 少子政策課
12月1日 (土)13時～ 15時	人身取引と偽装結 婚	偽装結婚を手段とした人 身取引や、金銭的搾取を 目的とした国際結婚によ る人身取引案件と、その 中でのDVや暴力	IOM 駐日事務所 人身取引担当 須藤 詠子様

センターの活動をご支援ください 会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員……正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費：個人1口 3,000円、団体1口 10,000円

●センターを財政的に支える会員……賛助会員

賛助会員は、センターを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、センターのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費：個人1口 3,000円、団体1口 10,000円

会員、賛助会員にはこの機関誌をお送りします

郵便振替口座：00110-0-369511
口座名：ふじみの国際交流センター

外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00

電話：049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
センターをご紹介ください。

ご寄付をいただいた方々

ご支援ありがとうございます

●2011年4月～（50音順・敬称略）

イオン(株)大井店、国際ソロプチミスト埼玉、立麻医院、東入間地区遊技業防犯協力会、阿澄康子、穴沢エミリン、新井順子、荒田光男、石井ナナエ、市川孝治、岩田仁、上島直美、太田原裕、大西文行、葛西敦子、加藤久美子、金子忠弘、神田順子、木場ひろみ、駒形一夫、権田貴久子、白砂正明、菅山修二、鈴木譲二、関ニーランティ、多ヶ谷實、武田和子、立麻肇子、内藤忍、中嶋恵津子、中村禎作、野沢弘子、萩原千代子、長谷川正江、浜本由里子、百瀬紀子、森和也、森田信子、山畑博子



サービス料金表

ふじみの国際交流センターでは、センターの設備や、会員・スタッフの技能により、様々なサービスを行っております。ぜひ、ご利用ください。

種別	料金	対象
印刷機	マスター（製版代） 1枚100円 印刷代1枚1円	市民団体 個人
コピー機	1枚10円	
製本機	A4判1冊50円	
折り機	無料	

種別	内容	料金
講師派遣	国際理解教育	3,000円＋交通費
	外国料理教室	5,000円（材料費別途）
	語学教室	内容・予算に応じて相談
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	
編集・出版 ホームページ	多言語による情報誌・ガイドブック、ホームページの制作	1枚5,000円
	日本語によるチラシデザイン（A4判）	
翻訳	英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、タガログ語、スペイン語、タイ語、ベトナム語	婚姻関係、ビザ申請、履歴書 A4判1頁、40字・30行 1枚1,000円
	その他の文書	A4判1頁、40字・20行 1枚3,000円より
通訳	英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、タガログ語、スペイン語、タイ語、ベトナム語	半日5,000円より＋交通費

特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター

〒356-0053 埼玉県ふじみ野市大井2-15-10

うれし野まちづくり会館2階

Tel：049-256-4290 Fax：049-256-4291

ボランティア活動に、ご参加ください

ふじみの国際交流センターでは、日本語指導をはじめ、外国籍市民との交流・手助けをするボランティアを募っています。ぜひ、電話またはホームページから、お気軽にご連絡ください。